

第 5 回	介護・医療連携推進会議 議事録
-------	-----------------

開催日時	平成29年4月18日(火)	16:00~17:00
------	---------------	-------------

開催場所	加野クリニック 1階
------	------------

書記 豊資会定期巡回訪問介護ステーション 管理者 藤谷

出席者	古賀市 介護支援課 介護保険係	担当者様
	地域住民	A様
	地域住民	B様
	利用者家族	C様
	豊資会 地域連携室	相談員
	医療法人豊資会	理事長
	社会福祉法人豊資会	理事長
	訪問看護ステーションやまびこ	管理者
	訪問看護ステーションやまびこ	主任
	豊資会定期巡回訪問介護ステーション	管理者

#### 1、開会の挨拶

地域の方の参加もあり、ありがたいと思っております。本事業の発展のためお力を頂きたいと思っております。

#### 2、活動状況報告

- ①1~3月、利用者総数、男女別・年齢別・要介護度別・世帯別の利用者分類
- ②新規利用者、人数・介護度・世帯状況・依頼理由
- ③訪問回数、随時訪問回数と内容、コール回数、内訳
- ④時間帯別訪問回数
- ⑤具体的な支援状況

最近の事業所の状況

- ・この3ヶ月はほとんどコールが無かった、コールが無いことに慣れてしまっている危険がある
  - ・看取りの依頼や打診が増えてきた。訪問介護をやっている時は数年に一件ほどであった。定期巡回が看取りのケアに向いているのかと思う。今後も利用が増えてくると考えられる。
  - ・喀痰吸引の出来る、特定事業所として活動できるようにしていきたい。
- 現在喀痰吸引の研修終了者は2名、今後も増やしていきたい。
- ・安全面を考えて女性職員の夜勤回数を半分に減らした。
  - ・連携先の訪問看護ステーションが1事業所増えた。

#### 4、意見交換

Q 要介護1といえば比較的自立度が高いという認識があるが、支援内容が多岐にわたっているのはなぜ

A 声かけや確認など、手間のかからない介助を行っている。

Q 一日に複数回の訪問は大変なのでは

- A それが高齢者住宅などの特徴なので行っている。移動にかかるコストは無視できない、収益性を考えると高齢者住宅などでまとめて巡回することも今後は増やして行きたい。
- Q 定期巡回は町全体が施設のように介護職員が訪問するイメージであると聞いた、とても良い仕組みだと思うが、なぜ利用が増えないのか。
- A 認知度が低いと思われる。ケアマネジャーも仕組みをよく知らない人も多い。  
2月以降、問い合わせが増えたので、問い合わせをくださったケアマネジャーさんには直接資料を持って説明に行くようにしている。
- Q 同性介護などの対応についてどう考えているか
- A 夜間の対応の事もあり、男性を増やしている。同性介護が望ましいのであろうが、現実には難しい場面もある。職員の質の向上を図り、ご利用者に信頼していただけるようにしていきたい。
- Q 職員には利用者のみでなく、家族のケアも期待している
- A ご期待に沿えるよう、研修・研鑽をしていきたい

#### 5. 次回開催日程

7月18日(火) 16時～

#### 6. 閉会の挨拶

利用者・家族・ケアマネなど周囲の方々の「助かったね」を増やしていき、地域で暮らす人の支えとなってやっていきたい。  
皆様にも知恵を貸していただきたい。